





いよいよ、春休みから衛星放送を利用した、代々木ゼミナールの補習講座が導入されることになりました。今までの補習指導に加えて、生徒の進路に応じた指導の選択肢を広げることができるようになります。

この衛星放送講座は、代々木サテライゼミナール本校で行われている精鋭講師陣の教室での授業を衛星生中継で全国に配信しています。これを高等学校向けに編成されたものです。生中継方式によって、予備校の授業を体感できることが、生徒の勉強に向けての姿勢の向上、生徒の入試に向けての意識の向上へつながり、ひいては「生徒の学力のアップ」にむすびついてくるものと思われまます。

広島県においては、県立廿日市高校、県立世羅高校、県立葦陽高校、如水館高校等がすでに導入しており、大きな効果をあげています。(廿日市、世羅は、

河合塾衛星通信講座

さらに、代々木ゼミナールの小論文指導講座も導入されます。学力を多様な観点から評価していくための小論文試験を実施し、意欲と行動力をともなった生徒の力を、大学や企業等の活性化のために役立てようとする傾向は、一層強くなっていくと考えられます。

これらの動きに対応するため、衛星放送の小論文講座を積極的に活用し、進路の実現に取り組んでいくものです。

将来的には、就職試験対策用の補習、公務員試験対策用の補

ポルノグラフィティから 激励の色紙

アキヒト (中庄町出身 因島高校) シラタマ (土生町出身 弓削商船) ハルイチ (土生町出身 因島高校)

豊かな高校生活を

土生中学校校長 河野 貢

一月二十日、オープンスクールで新校舎を見せていただきました。すばらしい一言でした。全校舎が完成すれば、さらに目を見張るものになるでしょう。

さて、今年度も高校生活に魅力をなくしたり、志半ばで進路を変更した生徒たちがいます。原因は様々ですが、その一つに「勉強がわからない」ことがあげられます。源は義務教育にあるので、「まず中学校を参観してみよう」という意見がでています。是非とも多くの人に中学校を見ていただき、いろいろな角度から示唆をいただければと思います。

一方、自分の可能性を信じて、島外の高校に進学する生徒も増えていきます。本人、保護者の選択であり、やむをえないことかなと思っています。また、ここ十数年の出生数の減少に伴い、現在の小中学校の存続さえも問

習、看護医療系の補習などの実施も視野に入れて考え、総合学科ということで、生徒の多様なニーズに対応できると考えられます。

通信衛星講座については、補習体制のひとつとして、二、三年前から担当の先生方を中心に、調査研究されていたわけですが、導入に当たって大きな資金が必要になると言うことで、難しい点もありました。この度「支援する会」とPTAと先生方で協議検討を重ねた結果、導入に踏み切ることになりました。先生方からは、次のようなコメントをいただきました。 「衛星放送導入に当たって、資金面だけでなく、物心両面にわたって多大なご支援をいただ

因島高校に 期待すること

因島市PTA連合会 会長 楠見 由活

因島高校を支援する会が発足し数カ月が過ぎましたが、その間役員一同「行きたい学校、行かせたい学校」とは何か、また何をすれば良いのか議論を重ねてまいりました。

小中学校の親の立場から高校に期待するものとして、豊かな身体と心を育む環境、協調性や社会性の育成、学力向上等を言えれば限り無いとあります。高校生の就職問題を検討して

き感謝申し上げます。因島高校に対する地域の方々の熱い期待を身にしみ感じてるとともに、一方では生徒の進路実現に向けて進路指導の責任の重さを痛感しています。

基本となる指導は、因島高校の各教科担任の先生方を中心にして実施しますが、代々木ゼミナールの講座を活用し指導の多様化を図っていくことになりま

補習講座等の指導を計画実施しても参加する生徒が少ないのが課題ではありますが、家庭で全く学習しないという生徒も多々あり、こういう状況では決して望ましい成果をあげること

その克服方法として、学校内でも様々な議論されているようですが、「家庭と地域の協力なくして生徒の進路に対する意識を変えることはできない」ということだと思われまます。

学校、家庭、地域が、連携を密にしなが、開かれた学校づくりを進め、地域から信頼される因島高校になるよう願っています。

厳しい 頭髪指導

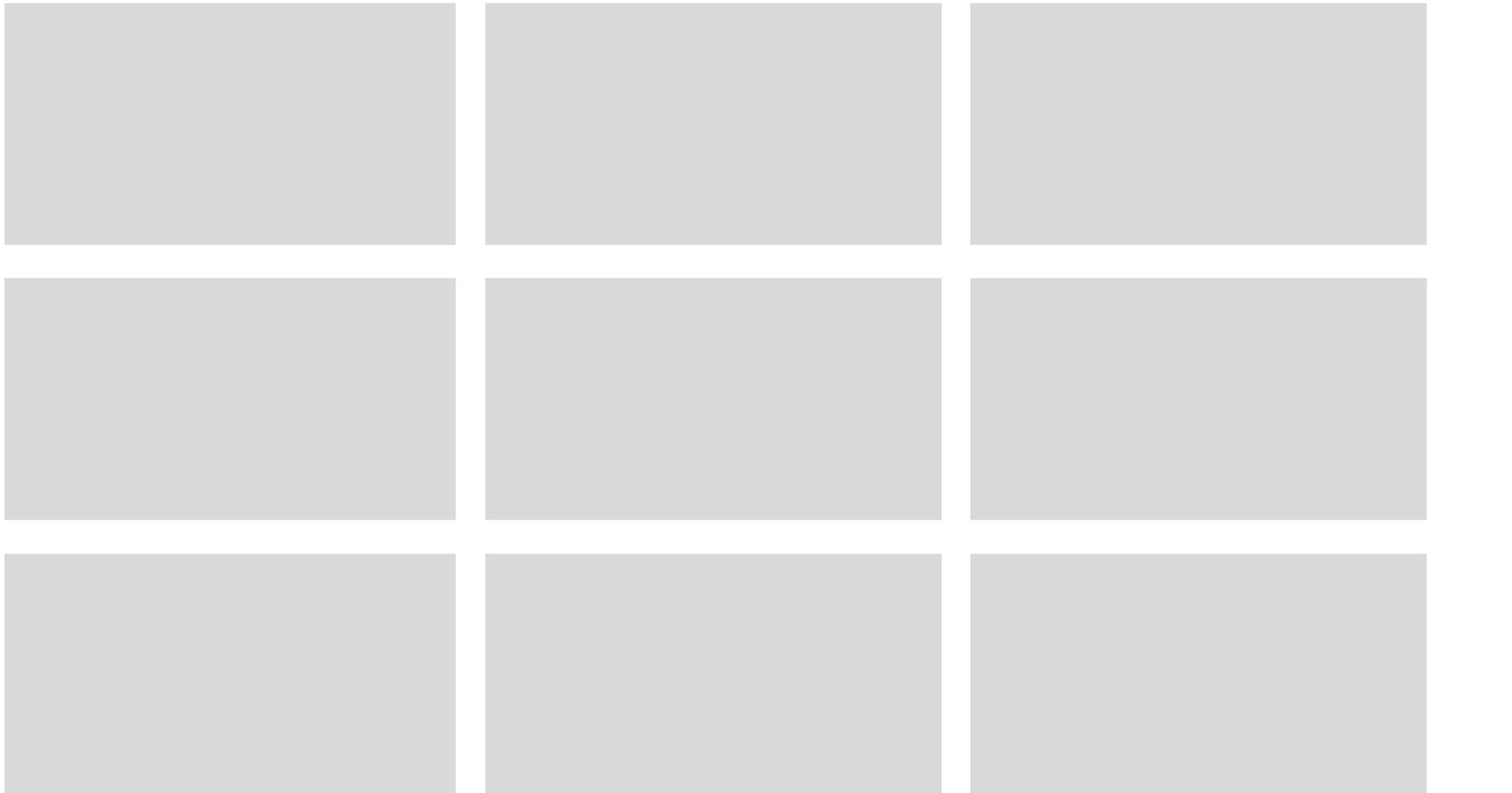
重井

教育の目標は一人ひとりの基礎学力をつけることです。私たちは、早急に学校教育の課題を整理して、地域、保護者の期待に応えていく必要があります。その第一歩が中学校教育の充実です。基礎学力を身につけ、たくましい生徒を育て、因島高校へ送り出す努力をしていきたいと思

きた文部科学省検討会議が今年二月一日に提言を纏めています。ここでは、「自分に向いている仕事」を早い段階から意識して考える教育の重要性を強調しています。因島高校にあっても各生徒が目標を持ち、目的意識の中で楽しく過ごせるような学校であることを期待致します。そのことが子供たちの大いなる個性と能力を伸ばしてくれるように思

因島高校では生徒の生活態度をよくするため、昨年から土生校舎、重井校舎とも、生活指導を重点的に取り上げてきました。とりわけ高校生らしくない頭髪が見受けられること、十一月より、重井校舎で毎朝校門にて生活指導担当の先生方を中心にして、違反の生徒には一時帰宅させ、直してから登校するよう指導するなど指導の徹底をはかりました。その間、授業が抜ける場合は放課後補習をして対応してまいりました。そういう地道な努力の結果、違反者はほぼ皆無に近い状況になりました。

因島高校PTAも、校門付近で挨拶運動を実施し、通学する生徒と明るく元気な挨拶を交わすことを続け、協力しました。(PTA挨拶運動は、土生校舎で十二回、重井校舎で十回おこな



個人会員 一口(1,000円)以上  
法人会員 一口(5,000円)以上  
因島高校PTA事務局  
土生校舎(迫教頭) 1 08452-2-2133  
重井校舎(松脇教頭) 1 08452-4-1281